

2024年8月4日(日)

聖書箇所:エレミヤ書 33 章 14~26 節(旧約 P1356、エレミヤ書講解説教 63 回目)

タイトル:「主は私たちの救い」

I. 主は私たちの義(14-16)

■サムエル記第二 7 章 12、13 節

「12 あなたの日数が満ち、あなたが先祖とともに眠りにつくとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子をあなたの後に起こし、彼の王国を確立させる。13 彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえまでも堅く立てる。」

■エペソ 2 章 1~8 節

「1 さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、2 かつては、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。3 私たちもみな、不従順の子らの中にあつて、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、5 背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。6 神はまた、キリスト・イエスにあつて、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。7 それは、キリスト・イエスにあつて私たちに与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来たるべき世々に示すためでした。8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。」

■谷川俊太郎、「ぼくのゆめ」

「おおきくなったら なになにになりたい? / と おとながきく / いいひとになりたい / と ぼくがこたえる / おこったような かおをして おとなはいう / もっと でっかいゆめがあるだろ? / えらくななくていい / かねもちにならなくていい / いいひとになるのが ぼくのゆめ / と くちにださずに ぼくはおもう / どうして そうおもうのかわからない / だけど ほんとにそうおもうんだ / ぼんやり あおぞらを見ていると / そんぐ(ぼくがかっているうさぎ)のあたまを なでていると」。

■Ⅱコリント 5 章 21 節

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあつて、神の義となるためです。」

II. いつまでも絶えることがない神の契約(17-22)

III. 神の契約はまだ続いている(23-26)

■エペソ 1 章 4~5 節

「すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方にあつて私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。神は、みこころの良しとするところにしたがつて、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。」